

平成 28 年度第 2 回山武市地域公共交通活性化協議会 議事概要

|      |  |
|------|--|
| 開催日時 | 平成 28 年 10 月 31 日 (月) 13:30~15:00  |
| 開催場所 | 山武市役所 車庫棟 第 6 会議室  |
| 出席状況 | <p>(敬称略、順不同)</p> <p>委員 飯島 俊一 (千葉交通(株) 代表取締役)<br/>         [代理 石井 真樹 (自動車部企画課 課長補佐)]</p> <p>〃 笹尾 充宏 (ちばフラワーバス(株) 代表取締役)</p> <p>〃 石田 浩造 ((有)松尾タクシー 代表取締役)</p> <p>〃 金杉 幸太郎 (房総自動車(有) 代表取締役)</p> <p>〃 川島 正博 (両総観光(株) 代表取締役)</p> <p>〃 花崎 幸一 ((一社)千葉県バス協会 専務理事) 【欠席】</p> <p>〃 土屋 信乃夫 ((一社)千葉県タクシー協会 専務理事)</p> <p>〃 平野 秀明 (千葉県県土整備部山武土木事務所 所長)</p> <p>〃 今関 紘 (蓮沼地区地域審議会 元会長) 【欠席】</p> <p>〃 齊藤 澄子 (松尾地区地域審議会 元会長) 【欠席】</p> <p>〃 高橋 照美 (山武地区地域審議会 元会長)</p> <p>〃 高木 壽 (成東地区地域審議会 元会長)</p> <p>〃 中村 光秀 (国土交通省関東運輸局千葉運輸支局<br/>         首席運輸企画専門官 (輸送監査))</p> <p>〃 岡崎 晃士 (千葉県総合企画部交通計画課 副主任幹)<br/>         [代理 辻内 裕樹 (交通計画課 主事)]</p> <p>〃 峯島 弘幸 (千葉県山武警察署 署長)<br/>         [代理 阿部 洋祐 (交通課長)]</p> <p>〃 成毛 孝行 (東日本旅客鉄道株式会社 成東駅 駅長)<br/>         [代理 松本 昭一 (助役)]</p> <p>〃 轟 朝幸 (日本大学理工学部交通システム工学科 教授)</p> <p>〃 高知尾 恵美子 (山武市商工会女性部) 【欠席】</p> <p>〃 岩澤 弘 (成田国際空港株式会社地域共生部長)<br/>         [代理 三邊 卓 (地域共生部担当部長)]</p> <p>〃 高橋 一嘉 (山武市 副市長)</p> <p>〃 石橋 和記 (山武市 総務部長)</p> <p>事務局 山武市総務部企画政策課</p> |
| 資料   | <p>報告事項 1 委員の変更について</p> <p>報告事項 2 運行の実施状況について (平成 28 年度上半期)</p> <p>報告事項 3 乗合タクシー予約センターオペレーターの賃金改正について</p> <p>報告事項 4 地方創生推進交付金の活用について</p> <p>議事 1 今後の運行改善案等について</p> <p>議事 2 その他</p>   |
| 会議概要 | <p>○報告事項</p> <p>(1) 委員の変更について<br/>         ~主な内容~</p> <p>・人事異動等により高橋委員 (市の職員の中から市長が指名する者)、土屋委員 (千葉県タクシー協会が指名する者) が前委員に代わり新たに委員に就任した。</p> <p>(2) 運行の実施状況について (平成 28 年度上半期)<br/>         ~主な内容~</p> <p>・基幹バスの平成 28 年度上半期 (4 月から 9 月まで) の利用状況は、運行日数 183</p>   |

|  |   |
|--|---|
|  | <p>日（内土日祝日 60 日）、利用者数 23,380 人【前年対比▲6 人】、1 日当たりの平均利用者数 127.5 人【同▲0.3 人】、1 便当たり平均利用者数 9.6 人【同+0 人】、平均収支率 33.09%【同+0.11%】となっており、平成 27 度上半期と比較すると利用者、収支率ともにほぼ横ばいで推移している。今年度より蓮沼・松尾地域において路線変更を実施しており、月別の利用者数は増加となったが、前年と比較して利用者数が微減となった理由は 7 月、8 月の夏季の天候不良による海水浴、プール施設への需要低下と推測される（7 月と 8 月を除いた各月合計で 500 人程度の利用者増加）。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乗合タクシーの平成 28 年度上半期の利用状況は、運行日数 183 日（内土日祝日 60 日）、利用者数 23,365 人【前年対比▲1,751 人】、1 日当たり平均利用者数 127.7 人【同▲9.6 人】、平均収支率 22.43%【同▲1.09%】となっており、平成 27 年度上半期と比較すると減少となっている。地域別の利用者数の増減では、蓮沼・松尾地域が▲66 人、成東地域が▲673 人、山武地域が▲1,012 人となっており、山武地域の利用者が特に減少している。全体的な減少傾向については、安全運行の観点から運行間隔を緩和したことが一因と考えられるが、減少幅が大きい山武地域について明確な原因解明に至っていない状況である。今後は利用者ニーズとのずれがないか調査・検討を重ねていく必要がある。</li> <li>・回数券の利用状況について、基幹バス・乗合タクシーともに利用割合は増加してきており、平成 28 年 9 月の利用割合は、基幹バス 23.62%、乗合タクシー 40.21%となっている。特に基幹バスについては、前年度と比較して回数券利用者が増加しており、定期的に利用する固定客が増えているものと考えられる。</li> <li>・運転免許自主返納者の優待制度について、平成 28 年 6 月から制度の運用を開始し、登録者数は 12 名（H28.10.31 現在）となっている。地域別の登録者は、山武地域 7 名、成東地域 4 名、蓮沼・松尾地域 1 名となっている。</li> <li>・本公共交通の目標である利用者数 8,000 人/月、収支率 25%に対し、利用者数（H28 年度上期 7,791 人）は達成できていないものの、収支率については 27.76%と目標を達成している。下半期も目標を達成できるよう運行改善に努めていきたい。</li> </ul> <p>～主な意見・質問等～</p> <p>高木委員      利用状況について、半期ごとにまとめられていますが、これですとその時の一部分の比較しかできませんので、年間の利用者数や収支率等の主な項目については過去 5 年間分程度比較できるような資料があると良いと思います。</p> <p>事務局          次回協議会開催時には年間の利用者数を報告させていただきますので、その際に資料として過去の数字の推移がわかる資料をご提示させていただきます。</p> <p>高橋委員      利用者数が減少していますが、どうして減少しているのでしょうか。山武地域に関していいますと、基幹バス・乗合タクシーは定着してきています。特に高齢者が増えている中で、買い物等によく乗合タクシーが利用されています。地域内ではランドロームがよく利用されていると思いますが、運転手の対応も非常に丁寧であり、利用者から助かっているという声をよく聞きます。しかしながら、基幹バスについては、路線に問題があり、停まって欲しい場所にバスが停まらないという意見をよく耳にします。山武地域で具体的な場所を挙げますと、諸木内、睦岡周辺の旧山武町で中心となっていた地域です。この地域は住宅地がたくさんありますが、現在基幹バスが走っているルートは全く住宅のないところ。外野や北総長寿園がある地域は、もっとたくさんの住宅があります。旧山武町の時には巡回バスが通っていましたが、それがなくなり今は不便になっています。基幹バスについて、山武地域に限っていえば、今申し上げた地区を通る路線に変更していただければ、利用者は間違いなく増えると思います。</p> |
|--|---|

|      |   |
|------|---|
| 事務局  | <p>高橋委員がおっしゃられたとおり、新たな公共交通の制度設計がなされてからだいぶ時間も経ち、市民のニーズも変化してきていると思います。この後ご説明いたしますが、今年度、市民を対象としてアンケート等によるニーズ調査を実施する予定です。市民ニーズを的確に把握したうえで、今後の運行改善等の検討を進めてまいりたいと思っております。</p> <p>(3) 予約センターオペレーターの賃金改正について<br/>～主な内容～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・千葉県最低賃金の改正に伴い、平成28年10月1日付けで山武市の臨時的任用職員及び非常勤職員の賃金の一部改正が実施された。乗合タクシー予約センターオペレーターの賃金については山武市臨時的任用職員に関する規則に準じているため、山武市と同様に現行の日額6,500円から6,550円に、時間額838円から845円に改正を行った。改正日は山武市と同日の平成28年10月1日付けとし、10月給与支払い分から適用済み。予算については試算の結果、当初予算内で対応が可能となっている。</li> </ul> <p>～主な意見・質問等～<br/>特になし</p> <p>(4) 地方創生推進交付金の活用について<br/>～主な内容～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度より地方創生推進交付金を活用し、成田方面へのアクセス強化等（新規路線検討）を含めた交通計画策定に向けた調査を実施する。</li> </ul> <p>(調査の目的)</p> <p>山武市では、地方創生に向け、既に大きな雇用の場となっている成田国際空港及び関連企業への就業の流れを強化し、地域住民の空港周辺での就労増加による定住促進を図り、また、航空・エアラインビジネス業界に関心のある若者の移住を促進することで人口増加を図ることを目指している。</p> <p>この取組を推進していくため、成田国際空港へのアクセス改善を視野に、城西国際大学が運行する京成成田駅行きの通学バスの活用検討や市内公共交通の再編に向けた調査を行うことを目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地方創生推進交付金対象事業として、交付決定済み。</li> <li>・交付決定額：4,000千円（事業費ベース8,000千円、地方負担1/2）</li> </ul> <p>(業務概要)</p> <p>本目的を実施するために以下の業務を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○通学用バスの混乗運行計画策定に係る調査及び運行計画の策定支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・通学用バスの概要整理、沿線住民のニーズ把握、利用学生のニーズ把握、関係者の意向把握、運行計画の検討、導入に際しての課題整理</li> </ul> </li> <li>○交通計画策定に係る調査業務 <ul style="list-style-type: none"> <li>・通学用バスの混乗による公共交通への影響整理、本市の公共交通に関する現況整理及び課題抽出、市民ニーズの把握調査、上位計画・関連計画におけるまちづくりの方向性の整理、交通計画の検討</li> </ul> </li> </ul> |
| 高橋委員 | <p>～主な意見・質問等～</p> <p>目的の中で城西国際大学の通学バスを活用して成田方面へのアクセス改善を図るとしてはいますが、城西国際大学のバスを活用するというのは決定事項なのでしょうか。他の案（方法）では不可能だということでしょうか。</p>   |

|        |   |
|--------|---|
| 事務局    | <p>現段階では、この通学バスの活用ができるかできないのかを判断するための事前調査を行うものです。そのため、必ずしも通学バスを使って実施するというものではありません。</p>   |
| 高橋委員   | <p>なぜお伺いしたかといいますと、同様の事例の経験があるためです。</p> <p>城西国際大学とはさんむ医療センターの看護部門の件とともに連携していく必要があります、すでに看護学部への奨学金で連携を行っているところです。しかしながら、これとバスの件は全く別物と考えています。</p> <p>以前、早稲田大学でキャンパスと最寄りの高田馬場駅を結ぶ通学バスを試験的に走らせました。それは一般の人も乗れるというものでしたが、結果としてはクレームばかりで一般の人にはほとんど使われませんでした。それはなぜかといいますと、あくまで学校の時間に合わせて運行しているものであり、バス停を設置したが、乗降ができない状況が出てしまったためです。結局、大学で通学バスを運行する事は諦め、一般の都バスとして運行をすることとなりました。現在、都バスの1路線となっていますが、非常に好評でほぼ満員の乗車率です。</p> <p>このような経緯もあり、大学側の協力があっても一般利用者の利便性を考えると通学バスの利用については反対です。地元で車庫を持つちばフラワーバスさんもしらっしゃいますので、私は成田と山武地域を結ぶバスを運行するのであれば、ちばフラワーバスさんと協力して運行されるのが良いのではないかと思います。</p> |
| 笹尾委員   | <p>このお話は寝耳に水で今まで何も知りませんでした。私どもは長年、千葉や東京への輸送だけでなく、地域の輸送についても基幹バスを含めその役割を担ってきました。また、昨年からは更なる利便性向上、地域のために海浜幕張駅までの路線を引かせていただいたところです。地域のために運行を続けてきた中で、全くこの話がなかったことについて残念に思うことと、高橋委員からお話がありましたとおり、貸切の通学バスと市民の成田方面への移動ニーズは、便数や時間帯を考えると必ずしも一致するものではないと考えています。今後は、それらを含めて調査していくことになると思いますが、是非検討の当初段階からちばフラワーバスも協議の場に入れていただければと思います。</p>  |
| 事務局    | <p>市としてもこの事業の推進にあたっては、各交通事業者様のご協力をいただければ実現できないものと考えておりますので、ご協力をお願いいたします。</p>  |
| 石井委員代理 | <p>ちばフラワーバス様と同じく初めてこのお話を聞きましたので一言申し上げたいと思います。千葉交通では、成田管内に営業エリアを持っております。城西国際大学の通学バスについて見かける機会がございますが、成田市のコミュニティバスのエリアを通過し、京成成田駅への乗り入れもありますので、その辺りの影響も考えられます。また、成田国際空港へのアクセス改善ということですが、現在山武市も参画する芝山鉄道延伸協議会で運行している空港シャトルバスがございますので、こちらを活用したアクセス改善も検討いただければと思います。</p>   |
| 川島委員   | <p>資料を見ますとプロポーザル審査会を実施し、すでに業務の受託事業者が決定しているとのことですが、バス事業者についても決まっているということでしょうか。そうであれば、ビー・トランセさんが運行を行うということになると思いますが。</p>  |
| 事務局    | <p>今回は調査業務に係る業者選定でございますので、今後の運行等に係る事業者は決まっております。あくまで調査に係るコンサルタント業者の決定になります。</p>   |

|      |   |
|------|---|
| 金杉委員 | 横芝光町でも多古町を經由して成田国際空港へ乗り入れるバスの運行を開始したようですが、横芝光町との兼ね合いはあるのでしょうか。  |
| 事務局  | 地方創生の議論の中で横芝光町を含む近隣の市町で連携を図っているところです。横芝光町からは空港シャトルバスを現状の屋形海岸から横芝駅まで伸ばしたいとの意見が出ていますが、今回は横芝光町単独で成田方面へのアクセス改善を実施しているものです。特に成田イオンへ向かう利用者で利用が伸びているというお話は伺っております。   |
| 高木委員 | 調査を依頼する業者が決定したとのことですが、プロポーザルを実施したというのは、今回お話があった内容について事業者に提案いただいたということでしょうか。また、その結果について、次回の協議会で報告があるということですが、どのような調査内容とするのかわからないまま私どもは結果報告を受けるということでしょうか。事前に内容を検討しなければ後に修正事項が出てくると思いますが。                               |
| 事務局  | これから受託事業者との契約を進めていき、次回の協議会（翌年3月）のなかで、成田方面への市民ニーズがどの程度あり、ルートとしてはどのようなものが考えられるのか、また最終的に成田方面への路線を運行する場合にどのような課題があるのかといったことを調査した結果を報告させていただきます。そこに至るまでに必要となる細かな決定事項については、各交通事業者様に集まっていただく分科会の中で意見をいただきながら決定していきたいと考えています。 |
| 轟副会長 | 一つだけ確認ですが、今回の目的は、交通計画策定に係る調査を実施するとありますので、あくまで調査を実施し、計画策定の詳細の内容については次年度以降の協議会の中で検討していくということでしょうか。今回で計画まで作るということではないということでしょうか。   |
| 事務局  | 今回は計画策定に係る事前調査でありますので、その結果を持って次回の協議会以降に計画の策定に向けた協議を行っていきたいと考えています。  |
| 轟副会長 | 今回は調査、次年度以降は計画策定に向けた協議・調整を図っていくという理解いたしました。もう一点、先ほど横芝光町の件が出ましたが、空港南部地域の連携自治体、また城西国際大学がある東金市といった自治体との関係性については言及がなかったのですが、調査は市内に限って行われるものですが、今後混乗バスを運行すると近隣自治体との関係性も出てくると思います。  |
| 事務局  | 関係する市町については、事業の実施について簡単な説明を行っております。ただし、今回の調査結果によっては、実証実験運行までいかないケースも考えられますので、調査結果を持って関係市町との具体的な調整を図っていく予定であります。   |
| 轟副会長 | 人口減少社会の中でシェアエコノミーという言葉があり、限られた資源を有効に活用していくというのが時代の流れになっています。その考え方からすればこの混乗バスというのも一つのあり方であると言えます。しかしながら、課題も大変多くあるものですので、この考え方だけでなく色々な方法を検討していった中で効率的かつ限られた資源を有効に使える方策を探っていただければと思います。                                  |

|      |   |
|------|---|
|      | <p>○議事1 今後の運行改善案等について<br/>～主な内容～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、事務局（市企画政策課）で運営を行っている乗合タクシー予約センター（「予約及び配車業務」）について、平成29年度以降から乗合タクシー運行事業者へ運営委託することとしたい。<br/>平成25年度の本格運行から3カ年度が経過し、乗合タクシー事業の定着が図られてきていることから、実証実験運行開始時期と比較して大きなトラブルや寄せられる質問等も大幅に減少している。<br/>また、以下の観点からも予約センターについては、乗合タクシー運行事業者が担うことが望ましいと考えられる。</li> <li>・<u>災害や事故発生時に迅速に対応できる体制を構築できる</u><br/>⇒緊急時に予約センターが運行事業者内にあることで、速やかに一般タクシーとの連携を図ることができ、対応が迅速に行える。</li> <li>・<u>利用者の声が直接事業者へ反映されることにより業務改善につながる</u><br/>⇒予約センターを通じて寄せられる利用者の声は、タクシーの運行そのものに関わるが多く、それらが直接運行事業者へ反映されることで更なるサービスの向上につながる。</li> <li>・<u>経費の削減</u><br/>⇒民間事業者の方が、タクシーの需要に応じた柔軟な労務管理が可能であり、雇用人数の削減等経費削減につなげることができる。</li> </ul> <p>～主な意見・質問等～<br/>特になし</p> |
| 高橋会長 | <p>特にご意見、ご質問が無いようですので、議題(1)今後の運行改善案等「については、原案のとおりとしてよろしいでしょうか。</p>  |
| 委員一同 | <p>異議なし</p> <p>その他特に意見・質問等はなく、(1)今後の運行改善等については、原案のとおり承認された。</p>   |
|      | <p>○議事2 その他<br/>特になし</p>  |
| 高橋会長 | <p>特に無いようですので、以上で予定されていた議事は全て終了いたしました。長時間に渡りご協力をいただきありがとうございました。それでは事務局よろしくお願ひします。</p>  |
| 事務局  | <p>次第4 その他といたしまして、今後の予定等についてご説明申し上げます。<br/>次回協議会の開催は、平成29年3月頃を予定しております。詳細が決定いたしましたら改めてご連絡させていただきます。また、次回は委員の改選がございますので、委員の推薦等、引き続きご協力をお願いさせていただきますこととなります。よろしくお願ひいたします。</p>   |
| 事務局  | <p>以上をもちまして、本日の会議を終了いたします。高橋会長から閉会のご挨拶をお願ひいたします。</p>  |
| 高橋会長 | <p>それでは、長時間に渡り議論いただきましてありがとうございました。今後とも</p>   |

当市の公共交通について、ご理解ご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。以上で平成 28 年度第 2 回山武市地域公共交通活性化協議会を閉会いたします。本日はお忙しいところありがとうございました。

以上